



JCS NEWS

日本チェロ協会会報 第25号 (2006年6月30日)

第5回 チェロ協会総会 を開催



5月20日に「第5回日本チェロ協会総会」が開催され、以下の内容で承認されましたのでご報告いたします。

(以下敬称略)

開催日時：2006年5月20日(土) 11:00~12:00

会場：サントリーホール・リハーサル室

出席者：(会長)堤剛、(副会長)中島顕、堀了介
(15名) (書記)山崎伸子(評議委員)荻田雅治(監査役)石島栄一(会員)小泉喜正、住野泰士、松崎松平、箕口一美、森愛喜(事務局)飯田芳憲、竹田洋太郎、溝口雅子、小松潤子

議題：

2005年度活動報告 2005年度決算報告
会計監査報告 2006年度活動計画

2006年度予算 役員改選
報告事項 - 日本音楽コンクールについて -

■ 2005年度活動報告 (2005.4.1~2006.3.31)

1. 評議委員会開催

[第1回] 10月7日(金)

- ・ICCの実施報告 ・2004年度会計監査実施報告
- ・チェロサロン、マスタークラスの報告と今後の計画
- ・協会への問合せと対応 他

[第2回] 3月16日(木)

- ・2005年度活動報告および決算見込報告、2006年度活動計画および予算案 ・役員改選案
- ・特別イベントの企画 ・チェロ関連のイベントへの協力 他

2. インターナショナル・チェロ・コンGRESS・IN神戸(ICC)共催大会準備

- ・事務局会議 4/8(金) 4/21(木) 5/8(日) 9/16(金)
- ・広報、企画協力

現場での運営 5/13(金)~5/23(月)

事務局メンバー(飯田、竹田、八反田、溝口、奥貴)で運営マニュアル作成・出演者対応・会場受付・招待等担当

堤剛会長 芸術監督

評議委員、会員の出演

コンサート：堤剛(5/16,19) 倉田澄子(5/17) 斎藤建寛(5/17) 山崎伸子(5/17) 岩崎洸(5/19) 酒井淳(5/17) 林俊昭(5/17) 向山佳絵子(5/19)

マスタークラス：堤剛(5/17) 倉田澄子(5/18) 斎藤建寛(5/19) 山崎伸子(5/18) 岩崎洸(5/19) 酒井淳(5/19) 林俊昭(5/19)

1000人チェロ：堤剛、堀了介、倉田澄子、斎藤建寛、

【収入の部】

■ 2005年度決算報告 (2005.4.1~2006.3.31)

(単位：円)

項目	2005年度予算額	2005年度決算額	予実差異	摘要
会費	1,300,000	1,152,000	-148,000	会費:1,129,000 (法人3社 340,000+ 一般113人 678,000+学生37人 111,000)/入会金:22人+1社=23,000
入場券	100,000	24,000	-76,000	マスタークラス16枚、チェロサロン8枚
雑収入	-	23	23	受取利息
前年度繰越金	3,622,960	3,622,960	-	
計	5,022,960	4,798,983	-223,977	

【支出の部】

(単位：円)

項目	2005年度予算額	2005年度決算額	予実差異	摘要
会報作成費	300,000	262,500	-37,500	会報23~24号:131,250*2
通信費	100,000	95,870	-4,130	
便箋・封筒等の制作費	-	18,900	18,900	
総会・評議委員会経費	250,000	74,010	-175,990	評議委員交通費:72,810 / 監査時軽食代:1,200
事務局経費	50,000	15,897	-34,103	宛名ラベル・ちらし用紙、振込手数料等
会員証作成費	10,000	630	-9,370	
事業費	700,000	219,332	-480,668	ICC登録補助:68,400 / マスタークラス:136,300
ホームページ開設運営費	300,000	252,000	-48,000	21,000/月 / チェロサロン:14,632
チェロコンGRESS協賛金	2,000,000	2,000,000	-	
次年度への繰越し	1,312,960	1,859,844	546,884	
計	5,022,960	4,798,983	-223,977	

■ 会計監査報告 2005年度会計報告について監査した結果、内容に相違ない旨、監査役/石島栄一氏より報告された。

山崎伸子、岩崎洸、酒井淳、長谷川陽子、林俊昭
 ワークショップ：中島顕
 会員のボランティア参加
 協賛金拠出 2,000,000円
 “日本チェロ協会アワード”としてプロモシングチェ
 リストコンサート・3公演に協賛した。

3. 会報発行

- 7月31日 会報第23号 ・チェロコンgres開催
 ・チェロサロン開催（河野文昭先生）
- 12月31日 会報第24号
 ・マスタークラス開催（ジャン=ギアン・ケラス先生）
 ・チェロサロン開催（ドナルド・モリーン先生）

4. ホームページ運営

コンサート情報 26件掲載、イベント情報 5件掲載
 過去のチェロサロン・マスタークラス一覧追加

5. チェロサロン開催

- 4月10日（日）河野文昭先生
 於：サントリーホール リハーサル室 13名参加
- 9月25日（日）ドナルド・モリーン先生
 於：サントリーホール リハーサル室 14名参加
- 3月11日（土）会員によるチェロサロン
 於：サントリーホール リハーサル室 5名参加

6. マスタークラス開催

- 10月20日（木）ジャン=ギアン・ケラス先生
 於：サントリーホール リハーサル室 36名参加

■ 2006年度活動計画(2006.4.1~2007.3.31)

1. 総会、評議委員会開催

- 総 会 5月20日(土)
 於：サントリーホール リハーサル室
- 評議委員会 年3回開催する(5月、10月、3月予定)

2. 会報発行

年2回発行予定(6月、1月)

3. ホームページ運営

4. チェロサロン開催

- 年2回開催する。
- 4月15日(土)チェロサロン in 京都(上村昇先生)
 於：京都ばるるプラザ 20名参加
- 12月~3月 毛利伯郎先生予定

5. 特別イベント開催

- 11月4日(土) 会員による“音楽会”
 於：サントリーホール小ホール

会員交流、協会アピールを目的とし、参加者を事前に募集、演奏会後懇親会を行う。

6. マスタークラス開催

年1回開催する。

11月10日 神奈川県民ホール主催「シューマン・プロジェクト」イッサーリス・マスタークラス に“協力”参加する 広報活動、評議委員による受講生選定審査

7. カサド国際チェロコンクールへの協力

名義後援決定。自主的な協力として入場券買取や運営ボランティア参加を検討する。

■ 2006年度~2007年度役員

<任期：2006年4月~2008年3月>

会 長 堤剛

副 会 長 中島顕、堀了介

書 記 山崎伸子

評議委員 上村昇、苅田雅治、倉田澄子、河野文昭、斎藤建寛、毛利伯郎、児玉真(新任)、飯田芳憲(事務局長)

監 査 役 石島栄一、入内島健

■ 報告事項

日本音楽コンクールについて

日本音楽コンクールのチェロ部門の開催が、隔年から3年に1度に変更になることが急に決定された。コンクール委員会に対し、1月31日、日本チェロ協会は抗議の要望書を提出したが受け入れられなかったため、5月16日、堤会長と飯田事務局長がコンクール事務局である毎日新聞社を訪問し、改めて中島常務取締役らに陳情した。

コンクール事務局側の説明としては、「近年のNHK受信料不払い問題の影響でコンクールの予算が削減され、参加人数が比較的少ないチェロ部門が縮小となった。合議で決定されたものであり覆すことはできないが明文化されているわけでもない。毎日新聞社も削減分を補填しており、新たな企業協賛も決定するなど積極的に進めている。コンクールを後退・縮小させるつもりはない」とのこと。

協会としては、今回の決定を覆すことは出来なかったが今後の展開に歯止めをかける効果はあったと認識している。今後の事態の推移を見守りつつ、新たなチェロの学生コンクールの開催も検討していきたい、などの意見が評議委員の先生方から出された。

【収入の部】

■ 2006年度予算 (2006.4.1~2007.3.31)

(単位：円)

項 目	2005年度決算額	2006年度予算額	摘 要
会 費	1,152,000	1,205,000	法人 320,000(2社) 一般 750,000(125名×6,000) 学生 120,000(40名×3,000)
入 場 券	24,000	80,000	マスタークラス、チェロサロン、特別イベント 入会金15,000(15名×1,000)
雑 収 入	23	-	受取利息
前 年 度 繰 越 金	3,622,960	1,859,844	
計	4,798,983	3,144,844	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	2005年度決算額	2006年度予算額	摘 要
会 報 作 成 費	262,500	270,000	131,250円×2回(第25~26号)
通 信 費	95,870	100,000	会員証、会報、イベントちらし等発送
便箋・封筒等の制作費	18,900	20,000	
総会・評議委員会経費	74,010	200,000	総会・評議委員会軽食代、交通費
事 務 諸 経 費	15,897	50,000	宛名ラベル、プリンターインク、振込手数料
会 員 証 作 成 費	630	10,000	会員証台紙
事 業 費	219,332	550,000	マスタークラス1回:200,000 / チェロサロン2回(東京、京都):100,000
ホームページ開設運営費	252,000	300,000	メンテナンス21,000円×12ヶ月 / コンテンツ作成50,000円 / 特別イベント:250,000
チェロコンgres協賛金	2,000,000	-	
カサドコンクール協力	-	100,000	
次年度への繰越し	1,859,844	1,544,844	
計	4,798,983	3,144,844	

チェロサロン開催

■会員によるチェロサロン

3月11日(土)サントリーホールリハーサル室で開催しましたチェロサロン、講師なしでは初めてのチェロサロンをでしたが、皆様のおかげで少数ながらも和やかで楽しい会となりました。石島さん、事前準備も含めコーディネーターをありがとうございました。

また演奏後、コーヒーを飲みながら皆様から頂戴しましたチェロサロンに関するご意見、提案は今後の企画に参考にさせていただきます。

【ご意見ご提案】

チェロ協会はアマチュアにとっては敷居が高くイベントに参加しにくい。

初心者でも参加しやすいように”基本クリニック”を開催してはどうか。「弓の持ち方」「弦の弾き方」など予めテーマを決めて行う。

毎年チェロサロンの開催日が決まっていると予定を立てやすい。

【音楽会(11/4)】について

チェロ協会ならではの音楽会を希望する。やはり評議委員の先生方の演奏が最後にあれば、参加者(聴衆)も増える。

先生なしの会員だけによる演奏会では各アマチュア団体で行っておりチェロ協会で行う意味がないのでは?

参加者：石島栄一、末松悦子、加藤美千代、宮崎比呂志、小倉千秋(敬称略)

演奏曲目：クレンゲル/讃歌、三枝成彰/チェロの為にクレイム、A.ロイド＝ウェバー/オペラ座の怪人、ゴルターマン/レリジョーソ、ラッヒナー/セレナーデ、モーツァルト/アヴェ・ヴェルム・コルプス、サン＝サーンス/白鳥

◆参加者の声◆

加藤美千代さん(会員番号 R-108)

先日はチェロサロンで会員ならではの、貴重なひとときを過ごさせて頂き有難うございました。ヨーヨー・マのオーラの漂うリハ室で弾いた「オペラ座の怪人」の5人のダイナミックな響きが耳に残りました。

今回、課題の3曲以外に石島さんは弾きやすい曲も用意して下さい、初見で遊ぶにも実力を付けたいものと思いました。チェロサロンに求めるものは、人によって「温度差」がありますが、私の場合はAPA(日本アマチュア演奏家協会)には入ってなくて、日常は所属の教室での活動があり、チェロ協会では一層、レパートリーを



増やすこと、実力をつけること、を目標にしています。チェロ協会でサロンを設ける場合には、学校、APAなどで学習しエンジョイしておられる方が多いので、気になる点があります。

- 1) 社会人の会員と一緒に弾ける機会は望ましいが、先生不在では魅力が半減すること、
 - 2) 事務局、コーディネーターの人に準備、人集め、などのご苦労がかかること、
 - 3) チェロ協会でなくても、別な場で楽しむこともできること、
- などから、今後は検討の余地もあると思います。

■チェロサロン in 京都

4月15日(土)京都で上村昇先生によるチェロサロンを開催しました。あいにくの雨にもかかわらず受講3名、聴講16名、計19名の方に京都他、大阪、兵庫、岡山、東京よりお集まりいただきました。

プログラムはアンサンブル希望者が少なかったためクリニックのみとし、クリニック演奏曲は、ハイドンのチェロ協奏曲第1番(一楽恒)/同第2番(見附淳一)/バツハ無伴奏組曲第2番(松江雄二)でした。

上村先生は少しお風邪を引いていらっしゃいましたが、受講者のよいところを引き出し熱心にご指導いただき、皆様感激していました。この会報編集をお願いしているリュウカンパニーの池端さんも参加され、写真撮影にご協力をいただきました。

日時 4月15日(土) 13:30~15:30

会場 京都ばるるプラザ スタジオ2

参加費用 会員：無料、非会員：1000円

講師 上村昇先生(日本チェロ協会評議委員)

参加人数 22名。講師1名、会員3名(松江雄二、坂田裕美、池端龍男/敬称略)非会員16名、事務局2名

◆参加者の声◆

坂田裕美さん(会員番号 R-233)

“チェロサロン in 京都”に参加させていただきました。あの上村昇先生が目の前にいてチェロを抱えている、というだけですごい! 音を出されたらまたものすごい!(当たり前ですね。申し訳ありません。)私の弾いている楽器とはまったく違うものようでした。私はまだ楽器を持って数年の初級者で、今回は聴講のみさせていただきました。

3人の方が弾かれましたが皆様本当にお上手で、本当にアマチュア? という方たち。上村先生は皆様を本当に誉めておられました。その上で、基礎を踏まえることの大切さ、表現することの楽しさ、難しさをニコニコし

ながら語って下さいました。

チェロってこんなすてきな楽器なんだ、とその魅力を再認識したことももちろんですが、何より舞台の上でしか拝見したことのない上村先生の間人らしい魅力に出会った一日でした。私は個人的には「第一ポジションを、開放弦をもっと使ったらいいんだよ」という言葉にちょっと安心いたしました。

私は、今回のサロンが協会の行事への初めての参加で、一流の音を真近に聴かせていただき、教えを頂戴したことだけで何より幸せでしたが、3人の皆様の演奏の素晴らしさも励みになり、今度また機会があれば、私も楽器を持ってお邪魔をして恥をかいてみようかと、密かに楽しみにしております。貴重な機会を本当にありがとうございました。

2つのチェロ・イベントへの協力

■第1回 ガスパール・カサド
国際チェロ・コンクール in 八王子開催
開催期間：2006年11月23日(木)～12月3日(日)
会場：八王子市芸術文化会館いちようホール
(東京都/800席)

「ガスパール・カサド 国際チェロ・コンクール」は、20世紀最高のチェリストの一人であるガスパール・カサド(1897-1966)の名を冠した国際コンクールで、最後の時を多摩地域で過ごした同氏の夫人である日本人ピアニスト故原智恵子(1914-2001)の遺志を引き継ぎ、八王子市がこのコンクールを開催することになりました。日本チェロ協会は「後援」という形で協力いたします。

コンクール詳細についてお知りになりたい方は、公式ホームページ<http://www.cassado-cello.jp>をご覧ください。今後、当協会ホームページやDMでもコンクールのご案内をする予定です。

■スティーヴン・イッサーリス
シューマン・チェロ曲 公開マスタークラス開催
開催日：2006年11月10日(金)
会場：神奈川県民ホール 小ホール

今年はシューマン没後150年を記念した様々なイベントが行われていますが、神奈川県民ホールでは、シューマンをライフワークとして長年探求してきたチェリストイッサーリスを迎え、「スティーヴン・イッサーリスプレゼンツ シューマン・プロジェクト2006」を開催します。日本チェロ協会は、プロジェクトの初日に予定されている公開マスタークラスにおいて、広報活動および評議委員の先生方による受講生の選定審査について協力をいたします。

プロジェクトの詳細については神奈川県民ホールホームページ<http://www.kanagawa-kenminhall.com/schumann/>を、マスタークラスの詳細についてはNPO法人SEED OF ARTSホームページ<http://www.seed-of-arts.org>および同封のチラシをご覧ください。

なお、協会員の皆様は聴講料が無料となりますので、ご希望の方は協会ホームページよりお申込みください。

音楽会

特別イベント 会員の皆様による「音楽会」予告
開催日：2006年11月4日(土) 14:00～17:30予定

会場：サントリーホール 小ホール

会員の皆様で演奏を楽しんでいただく「チェロ・サロンの」拡大版として、特別イベント「音楽会」をサントリーホール小ホールで開催します。プロ・アマチュアは問いません。会員の皆様のご家族、友人知人の方々などでチームを組んでいただき、参加者を募ります。

演奏形態としてはチェロとピアノ、ピアノトリオ、弦楽四重奏、チェロアンサンブルなど自由です。日頃の皆様の研鑽の成果を、是非サントリーホール小ホールの晴れ舞台で披露してみませんか。

当日は評議委員の先生にも参加いただき参加者全員によるアンサンブルや、終演後に懇親会も予定しています。詳細は7月下旬にホームページおよびDMでお知らせします。

事務局より

お知らせ

協会ホームページに、新コーナーとして会員の皆様のチェロ関連著作物(CD、著書等)を紹介する頁を設けることになりました。また、DM発送時(年2回の会報発行、その他)のタイミングで、著作物のご案内を同封することも可能です。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

なお、コンサート情報については従来どおり、ホームページのコンサート情報頁にてご案内させていただきます。

会員更新のご案内

4月中旬に会員の皆様には更新の手続きをご案内させていただきました。5月末が締め切りでしたが、6月も引き続き受け付けております。是非、本年度も会員継続をお願いいたします。また、お知り合い、ご友人の方で新規入会希望の方がいらっしゃいましたら、どうぞご紹介ください。

尚、銀行振込の場合は、会員ご本人のお名前でお振り込み下さいますようお願いいたします。

年会費	一般会員	6,000円
	学生会員	3,000円
	賛助会員	20,000円以上

編集後記

事務局として参加しました神戸でのインターナショナル・チェロ・コングレス開催から早一年が過ぎ、食わず寝ず走り回っていた10日間を懐かしく思い出す今日です。今年はチェロ協会事務局のあるサントリーホールがおかげさまで開館20周年を迎えます。さまざまな形でチェロとおつきあいしていきたいと思っております。(溝口雅子)

4月より事務局に新しく加わりました小松と申します。チェロはたしなみませんが、深い音色と豊かな響きにはとても憧れます。協会のイベントにて皆様にお会いできる日を楽しみにしております。(小松潤子)

日本チェロ協会会報(JCS NEWS)第25号

2006年6月30日発行

発行：日本チェロ協会

東京都港区赤坂1-13-1 サントリーホール内

電話 03-3505-1001 FAX 03-3505-1007

発行人：堤剛

編集：日本チェロ協会事務局

編集協力：リュウカンパニー